

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2012年10月4日

「平成24年7～9月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－横ばい推移－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成24年7～9月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成24年9月3～10日

回収状況 回収数 609社（回収率 95.8%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

①平成24年7～9月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－19.5となった。平成24年6月の前回調査（－20.2）とほぼ横ばいであった。前回調査の9月予想値（－26.0）と比較すると6.5ポイントの上方修正となった。

②平成24年10～12月期の見通しについて

次期10～12月期では業況DIは2.5ポイント悪化し－22.0となる。このところ、現状よりも3ヵ月後を悲観的にみる傾向が続いている。

③主な業種別の動向

業種	業況DI (前期→当期→来期見込み)	動向
二輪部品製造 (55社)	－17.9→ －27.3 →－38.2	業況DIは5四半期振りの悪化。海外への生産移転が進み国内生産が縮小している模様。
自動車部品製造 (70社)	－8.7→ －10.0 →－22.9	エコカー補助金を見込んだ生産は一巡。反動減の懸念に関しては意見が分かれる。
機械部品製造 (65社)	10.6→ －9.2 →－16.9	業況DIは、3四半期振りのマイナス水準。10～12月期にかけても悪化を見込む。
楽器部品製造 (17社)	－33.3→ －11.8 →－23.5	業況DI改善。売上額DIはプラス水準に。
繊維製造 (24社)	－12.0→ －8.3 →4.2	業況DIは5四半期連続の改善。10～12月期にかけても改善を見込む。
卸売業 (89社)	－27.0→ －28.1 →－24.7	業況DIは小幅な悪化にとどまったが、売上額・受注残DIは大幅悪化。
小売業 (67社)	－34.8→ －28.4 →－31.3	業況DIは5四半期連続の改善。
建設業 (71社)	－32.4→ －19.7 →－21.1	前回調査で悪化を見込んでいた業況DIは改善。売上額・収益・受注残・施工高DIも改善した。
不動産業 (38社)	－28.9→ －7.9 →－8.1	業況DIは20ポイント以上の大幅改善。地区によってばらつきがみられる。
飲食・宿泊・レジャー等 (15社)	－26.7→ －46.7 →－33.3	売上額DIはプラス水準を維持するが、業況DIは大幅悪化。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 神谷・間淵 TEL 053-452-1510